

52. カンタベリー物語にあらわれた服装について

(第3報)

大阪市立大 林田喜美子

1. 英国中世の Chaucer の作品 Canterbury Tales には Miss Brooke 等も指摘しているように被服に関する表現が他に類例のない程豊富であるので、一般的な服装史にあらわれている以上に具体的に当時の服装を調べて今日の新しい服装を考える上の一つの示唆ともなれればと考えた。

2. 前回において Chaucer の作品中の服装に関する個所は一応ひき出したので今回はこれを一層具体的に、その形状、裁断等に関して各種の参考書を通して調べるとともに、当時の時代環境、習慣、美的感覚等について可能な範囲において調査した。

3. Canterbury Tales の時代は renaissance の萌芽らしい自由なのびのびした気分のあらわれた服装が多く見られ、また奇抜な点もある等、当時のやや特殊な意識がうかがわれる。

また婦人服の裁縫の基礎的な手法はほとんどこの時代に出来上っていた事も分って得るところがあった。